特 笛 力 条 約

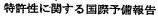
РСТ

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

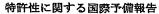
REC'D	28	OCT	2004
WIPO			PCT

出願人又は代理人 の售類記号 PCT01-03037	今後の手続きについては、様式PCT	/IPEA/416を参照すること。				
国際出願番号 PCT/JP03/13615	国際出願日 (日.月.年) 2.4.10.2003	優先日 (日.月.年) 30.10.2002				
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' H01L 27/092, H05B 33	国際特許分類 (IPC) Int. Cl' H01L 29/786, H01L 51/00, H01L 21/28, H01L 27/092, H05B 33/14, H05B 33/26					
出願人 (氏名又は名称) パイオニア株式会社	,					
,						
1. この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条(PCT36条)の	さこの国際予備審査機関で作成された国 D規定に従い送付する。	祭予備審査報告である。				
2. この国際予備審査報告は、この表紙を		ジからなる。				
3. この報告には次の附属物件も添付される	ιている。 ページである。					
補正されて、この報告の基礎 囲及び/又は図面の用紙(F	をとされた及び/又はこの国際予備審査 ・C T 規則70.16及び実施細則第607号	機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範 参照)				
	・ ・ たように、出願時における園際出願の!	掲示の範囲を超えた補正を含むものとこの				
<u></u>	- 左守へ介政					
b 電子媒体は全部で		(電子媒体の種類、数を示す)。				
配列聚に関する補充欄に示すよ プルを含む。(実施細則第80	うに、コンピュータ読み取り可能な形式	(電子媒体の種類、数を示す)。 による配列表又は配列表に関連するテー				
一	(2 芳香煎)					
4. この国際予備審査報告は、次の内容を	·含む。					
区 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎						
□ 第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 □ 第Ⅳ欄 発明の単一性の欠如						
区 第V欄 PCT35条(2)	に規定する新規性、進歩性又は産業 Fa	D利用可能性についての見解、それを裏付				
	X O 1076 1973	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
□ 第VI欄 ある種の引用文稿 □ 第VI欄 国際出願の不備		·				
第四個 国際出願に対す	3 意見	·				
	<u> </u>					
国際予備審査の請求售を受理した日 24.05.2004	国際予備審査報告を	全作成した日 5.10.2004				
名称及びあて先	特許庁審査官(権阿	表のある職員) 4M 3123				
日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915	l l					
東京都千代田区館が関三丁目4番	「	園子				
パパル・ハロ匹成が民二・コロ4倍	3号					



国際出願番号 PCT/JP03/13615

第 I 欄 報告の基礎	
1. この国際予備療を報告は 下籍に示す場合も除くほ	
1. この国際予備審査報告は、下配に示す場合を除くほか	•
この報告は、 語による翻訳文を それは、次の目的で提出された翻訳文の言語であ	を基礎とした。
■ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査	
PCT規則12.4にいう国際公開	· ·
PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査	
2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第69 た差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この	条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され D報告に添付していない。)
× 出願時の国際出願書類	•
明細書	1
第 ページ、	出願時に提出されたもの
第 ページ*、 第 ページ*、	付けで国際予備審査機関が受理したもの
	一 付けで国際予備審査機関が受理したもの
第	All the second s
7	出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基づき補正されたもの
	付けで国際予備審査機関が受理したもの
	一 付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
第 ページ/図、 第 ページ/図*、	出願時に提出されたもの
第 ページ/図*、	付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
□ 配列表又は関連するテーブル	
配列表に関する補充欄を参照すること。	·
3. [] 補正により、下記の書類が削除された。	
□ 明細書 第	ページ
間球の範囲第二	項
□ 図面 第□ 配列表(具体的に記載すること)	ページ/図
配列表に関連するテーブル(具体的に記載す	ること)
4. この報告は、補充欄に示したように、この報告に	- 添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超
えてされたものと認められるので、その補正がさ	がれなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))
明細書 第	ページ
請求の範囲 第	項
配列表(具体的に記載すること)	ページ/図
□ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載す	ること)
	·
* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記	入されることがある。



国際出願番号 PCT/JP03/13615

見解		
新規性(N)	請求の範囲 <u>1-8</u> 請求の範囲	- i
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲 <u>1-8</u>	- ; - ;
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 <u>1-8</u> 請求の範囲	_ : _ :
文献及び説明(PCT規則	U70. 7)	
大.0h.一.0.一.902 Jル2 JP 9 9 0 9 0 9 0 0 9 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	86891 A (富士ゼロックス株式会社) 03.19,全文,第1-3図 (ファミリーなし)	6 [
により進歩性を有し 文献1~2には、 半導体装置について 文献3には、P型な材料を用い、N型	に記載された発明は、国際調査報告書で引用された文献1〜ない。 有機半導体層をチャネル領域に形成した、CMOS構造の複	すた
新たに引用する文献 文献5には、P型	へて 記載された発明は、国際調査報告書で引用された文献1〜3万 でではいまり進歩性を有しない。 とうンジスタのドレイン電極であるアルミニウム配線(12 でジスタのソース電極(120)に接続することが記載されて	2

補充棡

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V 欄の続き

請求の範囲6についで

請求の範囲6に記載された発明は、国際調査報告書で引用された文献1~3及び新たに引用する文献6により進歩性を有しない。

文献6には、P型トランジスタのドレイン電極とN型トランジスタのソース電極を配線で接続することが記載されている。

請求の範囲7について

請求の範囲7に記載された発明は、国際調査報告書で引用された文献1~4により進歩性を有しない。

文献4には、ゲート電極に導電性ペーストを用いることが記載されている。

請求の範囲8について

請求の範囲8に記載された発明は、国際調査報告書で引用された文献1~3及び新たに引用する文献7により進歩性を有しない。

文献7には、ドレイン電極に接続された電極が、有機エレクトロルミネセンス表示 装置に接続することが記載されている。